備です。

業の物件補償費の増に伴う

◎新曽第一土地区画整理事

業特別会計補正予算

2月定例会

議員提出議案 条 意見書7件 例 1 件 も可決



重に審議しました 算などの各補正予算と、 日から12月13日までの17 12月定例会は、11月27 提出された請願・陳情を慎 市長提出議案15件のほか 負契約や条例の一部改正等 日間の会期で開かれました。 今回は、 一般会計補正予

撤回しました。 を再検討するため、市長は の意見をもとに、 2件(学童等災害共済廃止 に伴う関連条例)は、議会 そのうち、市長提出議案 また、議員提出議案とし 共済制度

7 され、原案のとおり可決さ 員定数条例の計8件が提出 の意見書と、戸 れました (3頁参照) に関する意見書」など7件 今定例会で原案可決され 「地方税財源の確保充実 田市議会議

年度まで)に伴う規定の整 ◎体育施設設置及び管理条 氷川町庭球場の廃止(14 例の一部を改正する条例

の賠償責任)に伴う条文の

及び勧告を行うことができ の設置者に対し指導、 市の責務として貯水槽水道 ②貯水槽水道の管理に関し、 改正に伴う規定の条文整備。 ①水道法 · 水道法施行令 を改正する条例

専用水道等の設置者に対 ③貯水槽水道のうち、 簡易

◎一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ、

事業委託料の増額。

次のとおりです

◎水道事業の設置等に関す る条例の一部を改正する

地方自治法の改正(職員

◎水道事業給水条例の一部

増額と、介護保険県補助金

システムの改修委託料の

算

返還金です。

旨の条文の追加。 査に努めなければならない ての検査義務、若しくは検

増に伴う扶助費の増額。 ①障害者等ヘルプサ

る旨の条文追加。 助言

③新曽第一土地区画整理事 ②児童扶養手当支給対象者

5607万8000円を追

次のとおりです。 加するもので、主なものは

た議案は、

業の工事請負費の増額です

物件補償金と宅地整備事

◎介護保険特別会計補正予

財政基金積立ての増額。

9 億

繰出金の増額。

給対象園児数の増に伴う補 ④借地であった笹目南公園 ⑥競艇事業収入増額に伴う 助金の増額。 ⑤私立幼稚園就園奨励費支 の用地購入に伴う新規計上

◎国民健康保険特別会計補 正子算

◎調整池築造工事請負契約

介護円滑導入給付金の確定 通知に伴う返還金の増額で 老人保健医療費拠出金及び 般被保険者等の療養費

②工事内容

新曽字稲荷

37番

調整池容量9

501立方ご

前年度繰越金を、 計補正予算

◎老人保健特別会計補正予

老人保健医療現金支給費

等の増額です

年度繰越金を火災共済基金 ◎火災共済事業特別会計補 共済見舞金の増額と、

のです。 害共済基金に積み立てるも ◎交通災害共済事業特別会 交通災

含む)

期

③ 金

額

15億926

4万円

(消費税

_ 2

⑤契約者

株

錢高組北関東支店

14 年 12 月

~17年3月15

採用しました。 限価格を公表する新方式を 会いで、設計金額と最低制 合わせを実施し、 複数社指名の期限別見積 金額非公開で郵送による 期されたこともあり、 ※請負業者選定に当たって 2回にわたり入札が延 設計

総務常任委員会では、随

に積み立てるものです。

議員定数条例を制定 により、可決されました。 金額が差し替えられたこと 強く要請し、同議案の請負 き交渉を行うよう執行部に 負金額について更なる値引 意契約であることから、請

どおり可決されました。 れ、従来の定数28人で原案 議員提出議案として提出さ 日に施行されることに伴い の規定が、平成15年1 の定数は条例で定める」旨 自治法の改正により、 地方分権一括法による地方 例」で規定していましたが ついては「議員定数減少条 従来、本市の議員定数に 議員

関する意見書

地方税財源の確保充実に

出特別奨励金や緊急雇用

は人口、 判断する必要がありますの ていくことになりました。 なお、議員定数について 今後も引き続き検討し 財政力等総合的に

任命することに同意

良一氏(新任)

教育委員会委員の任命に同意

ついて」の議案が提出さ 教育委員会委員の任命に 日に、市長から「戸田市 12月13日の本会議最終

早期拡充を求める意見書 中小企業に対する支援策の

害認定制度を。

自分で契約が困難な障

2. ト保証・貸付の拡充。 売掛債権担保融資制度

金融セーフティ

ネッ

のPRの強化 ペイオフの完全解禁の

入を行わない 一時凍結。 外形標準課税の早期導

中小企業者に対する税

4.

制面での支援。

意見音を提出

を求める意見書 地域雇用対策の強化・改善

3. 2. 地域雇用支援制度の創出 ネスを支援する、新し っての要件の緩和。 交付金を活用するに当た 民間の起業や地域ビジ 新規・成長分野雇用創

ので、

その要点を掲載しま

関係

機関に送付しました。 す。なお、意見書は、 提出され、可決されました

議案として7件の意見書が

今定例会では、

議員提

緊急地域雇用創出特別

障害者支援費制度の導入 成制度の充実。 創出特別奨励金などの助

定 支援費の全国基準の設

の確立は不可欠である。

国と地方の役割分担に見

地方の税財源の確保

であり、自立する自治行政 豊かな日本を築いていくの

していくことこそが、真に

個性ある地域社会を形成

にあって、基盤である財政

る意見書

に伴う適正な運用を求め

3. 切な対応。 適切な評価に基づく障 制度移行に際しての

充実を強く要望する。

5. 備の集中的推進 の早急な検討と、予算の 害者への支援策の充実。 大幅な増額による基盤整 新「障害者基本計画_

基礎年金の国庫負担割合 3分の1から2分の1 と早急に引き上げを求め

年金の国庫負担割合を引き 回復し、将来にわたり安心 図ることを強く要望する。 上げ、制度基盤の安定化を した制度とするため、基礎 公的年金制度への信頼を

待遇を求める意見書 労働条件の整備及び均等 有期契約労働者の適正な ートタイム労働者及び

働者は、 とはなっていない ているが、 わが国のパ 重要な位置を占め 良好な就労形態 トタイム労

きるよう、 多様な働き方が広がって 好な就労形態として選択で くのは、時代の流れである。 今後、短時間就業など、 トタイム労働が、 法律の確立を 良

早期批准を求める意見書 LO第111号条約の

トタイム労働は自由

LO第175号条約及び

である、 義務づけている第1 別待遇廃止のための政策を また、雇用と職業面での差 の権利と労働条件はフルタ に選択すべきもの、労働者 イム労働者と均等とすべき とする第

> 35 EEWEE 戸田市議会議員 (議席順) 一同



副議長 議 議 長 斎 遠 中 秋 熊 手 秋 神 元 元 谷 木 塚 照 直 英 浩 静 良 雄 伸 子 樹 一之明枝夫

平

花 畄 細 井 井 嵜 郁 伸 幸 子子雄進

中名生

伊 栗 青 原 東 秀 隆 宏

Щ 平 崎 野 雅 泰

奥 望 庄 本 田 月 司 実晴慎造俊雄浩司之隆

井 橋 沼 逸 雄

男

_ 3 _

郎

高 永

武民秀

喜代志

本 辺

渡 石